

(一社)九州観光推進機構 活動レポート

— 2014年10月号 —

9月のトピックス

○ 2014年九州上海経済交流ミッション参加及び中国の旅行会社とのMOU締結

(8月31日～9月3日:上海)

九州7県や九州経済連合会など官民でつくる九州経済国際化推進機構や九州観光推進機構などで構成するミッション団が、上海を訪問し、九州への観光や投資等についてトップセールスを展開しました。

その中で、当機構は、9月1日に、中国の上海及び上海近郊の各旅行会社(計28社)とそれぞれMOUを締結し、中国と九州の双方向の観光交流拡大にむけた取組を推進していきます。

【MOUの主な内容】

- ・中国旅行会社は九州向け商品を積極的に造成する。
- ・機構は、中国旅行会社の九州商品造成に関し、可能な範囲で支援を行う。
- ・機構は、クルーズ船寄港時における特区ガイドを活用した高品質なツアーを提案する。
中国旅行会社は提案を活用した九州商品造成に努める。
- ・機構は、中国旅行会社の九州向け商品の販促に有益と考えられる九州の旅行関連情報を中国旅行会社に提供する。



○ 旅行会社向け説明会・相談会の実施(9月1日～2日:仙台市)

仙台国際ホテルにおいて、2回目となる「平成27年度上期九州観光素材説明会・相談会」を開催しました。参加者は、JATA、ANTAの会員様17社・73名、県関係者30名。当日は、説明会、相談会、九州のグルメを持ち込んだ懇親会の3部構成で、大いに最後まで盛り上がりました。

今年は農協観光が奄美大島、JTBは10月より1カ月全店舗で「九州キャンペーン」を企画されるということで、九州への誘客が実を結びつつあります。



○ 総合特区担当者会議を開催(9月4日:福岡市)

九州7県及び福岡市で取り組んでいる九州アジア観光アイランド総合特区に係る担当者会議を開催し、規制の特例措置等を活用し、新たに実施した「地域活性化総合特別区域通訳案内士(特区ガイド)育成等事業」について、情報や意見の交換を行いました。

「地域活性化総合特別区域通訳案内士(特区ガイド)育成等事業」は、平成25年度に制度設計後、受講生の募集・受講決定を行い、九州7県に、特区ガイド第1期生が誕生しました。この特区ガイドの活

用を図るため、九州各県・福岡市の担当者との連携強化を図るとともに、当機構のウェブサイトに「九州アジア観光アイランド特区ガイド総合サイト」を開設し、福岡県知事の登録を受け、同意を得た特区ガイドの方々のリストを公開する等、より効果的な事業運営に取り組んでいきます。

○ MATTA 2014 出展(9月5日～7日、9日:クアラルンプール)

クアラルンプールからの誘客促進を目的として、現地における海外旅行博に出展し、九州が有する魅力的で個性的な観光資源を効果的にアピールしました。会期中、約1,800名の来場者が九州ブースを訪れ、九州ブースで実施した指湯体験やSNSを活用した九州温泉記念撮影会を通じ、多くの方に九州の魅力を伝えることができました。

また、JNTO主催のビジットジャパンセミナー・商談会にも参加し、クアラルンプールの旅行会社7社、ペナンの旅行会社6社と商談し、九州の豊富な観光資源をPRしました。今後、訪日旅行の新たな訪問先として九州を考えている旅行社が多く、更なる誘客拡大が期待されます。



○ 旅行会社向け説明会・相談会の実施(9月9日:東京)

品川プリンスホテルにおいて、「平成27年度上期観光素材説明会・相談会」「おんせん県おおいたDCの説明会」を初めて共催で行いました。参加者は、旅行社25社・153名、メディア10社・21名、県関係61名の計235名に達しました。

全体を4部で構成し、九州への誘客に弾みを付けた内容とし、特に第4部の「おんせん県おおいたのタベ」では、大分県産の食材のグルメを堪能され喜ばれていました。



○ 九州FIT旅行特集誌作成事業(9月9日～13日:福岡県、熊本県、鹿児島県)

台湾のFIT層に対し、雑誌媒体を活用して旅行先としての九州の魅力をアピールすることを目的とし、雑誌社の記者とカメラマン2名を招請し、九州取材を行いました。取材者からは、九州の列車に対する関心が高い台湾人には、JR九州レールパスを利用した九州周遊のPRが今後の誘客を拡大する一つのポイントであるとの意見がありました。



○ 旅行会社向け説明会・相談会の実施(9月11日:大阪市)

ホテルグランヴィア大阪において、「平成27年度上期観光素材説明会・相談会」と「おんせん県おおいたDC説明会」を共催で行いました。参加者は、旅行社34社・102名、メディア5社・5名、県関係者50名の計157名に上りました。

全体を4部構成とし、観光素材説明会では「テーマ別による観光素材」をテーマに各県が説明を行い、大分県は、第2部で「おおいたDC」を説明しました。第4部の機構主催の懇親会では、九州各地の特産品を揃え、九州の焼酎、グルメを堪能していただきました。また、中国古典舞踊「変面」の上演により、長崎のアピールをしました。



○ JNTOアウトバウンド商談会 i n 釜山(9月11日:釜山)

釜山で開催されたJNTO主催のアウトバウンド商談会に参加しました。本商談会には、韓国側旅行社19社、ランド社23社、日本側参加者20団体が参加しました。商談会場では、現地大手旅行会社を中心に10社程度と商談することができ、九州の新しい観光素材や九州オルレ情報等を提供しました。今後、更にFIT化が進んでいく韓国市場において、レンタカー利用の商品化を模索している旅行社が多くみられ、九州に対する関心は高く、今後の販路開発が期待されます。



○ 雑誌取材協力の実施(9月12日:佐賀県)

光文社の雑誌「HERS(10月号)」の連載「親孝行な温泉宿」の中で、武雄の温泉宿を紹介する企画に協力しました。同連載で8月号に紹介した阿蘇の温泉宿と同時に、取材のお約束をいただいたものであり、11月のバルーンフェスタの紹介などとともに、九州への誘客に繋がる内容となりました。

※「HERS」…月刊/約25万部



○ 九州の未来力2030にてプレゼンテーション(9月17日:福岡市)

九州の未来力2030会議(事務局:九州財務支局)が、福岡市博多区合同庁舎にて開催されました。その中で、九州観光推進機構石原会長が「観光を九州の基幹産業に〜活力ある九州に向けて〜」というタイトルで、最近の全国の事例も含めながらプレゼンテーションを行いました。少子高齢化、人口減少、財政赤字、増大する社会保障費と大きな課題を持つ九州にとって観光産業は有望な成長戦略であり、裾野の広い産業とされています。

当日はプレゼンテーションの後、委員の皆様による活発な意見交換が行われました。



○ 旅行会社向け説明会・相談会の実施(9月17日:名古屋市)

名古屋ガーデンパレスにおいて「平成27年度上期観光素材説明会・相談会」と「おんせん県おおいだDC説明会」を共催で行いました。

参加者は、旅行社25社・74名、県関係者50名の計124名に達しました。全体を4部で構成し、九州への誘客に弾みを付けた内容としました。特に第4部の「おんせん県おおいだの夕べ」では、大分

県産の食材のグルメが参加者の皆さんに大変好評でした。



○ 九州ビルディング協会にて講演(9月18日:福岡市)

九州ビルディング協会の定例会が、電気ビルにて開催され、その中で当機構高橋事業本部長が第二期九州観光戦略と機構の取り組みについて講演をしました。



○ 県境観光連携推進協議会研修会にて講演(9月19日:出水市)

鹿児島県出水市において、出水市・水俣市の県境観光連携推進協議会の研修会が開催され、当機構企画部豊島次長が「観光とIT～SNSを活用した情報発信」をテーマに講演を行いました。最近SNS利用者が急増していますが、その中でfacebookでの情報発信はとて興味が高くなっています。当日はサイト管理人の皆様から、ファン数及びリーチ数拡大に向けたアルゴリズム対応等、各論での質問や活発な意見交換がなされました。また、韓国順天市と姉妹都市である出水市より九州オルレについて質問があり、これまでの取り組みとトピックスを共有しました。



○ ビジット・ジャパン・トラベル・マート出展(9月24日～26日:東京)

海外バイヤー360社(メディア含む)、国内セラー417団体が参加する大商談会が東京で開催されました。今後の市場拡大を目的にアセアン及び欧州諸国の旅行会社を中心に商談を行い、九州の温泉、自然、食事等の基本情報のプレゼンを実施したほか、インセンティブ情報や宿泊数に合わせた旅行行程のご案内をしました。また、東京国立博物館で実施されたジャパンナイト(交流会)は、多くの参加者で賑わいました。



○ KLMオランダ航空連携招請(9月25日～29日:福岡、長崎、熊本、大分、佐賀)

エアフランス・KLM航空会社の旅行造成責任者4名をお招きし、福岡、長崎、熊本、大分、佐賀を訪問しました。九州の魅力ある観光地として温泉文化、雄大な自然、食事等を紹介しました。招請者にはよく知られている長崎以外にも、九州にはバラエティー豊かで魅力的な観光地が多くあることを認識していただきました。また、日本人の礼儀正しさに感銘を受けられていました。英語標記が少ないという課題は残るものの、九州に対する関心度は高まり、今後、長期休暇の訪問先だけではなく、MICE・インセンティブ旅行の訪問先としての選択も期待されます。



○ ツーリズムEXPOジャパン2014への出展(9月26日～27日:東京)

「旅フェア」と「JATA旅博」が統合した世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2014」(東京ビッグサイト)に出展し、首都圏を中心とした一般来場者や観光関係者に対し、九州の観光PRを実施しました。訴求テーマを「温泉」と「焼酎」とし、各種イベント(試飲・温泉ビンゴ)や各県担当者やゆるキャラによるPR、空行け!九州キャンペーンの参加航空会社CAによるPRにより、九州の魅力を発信し、ブースを盛り上げました。また、九州各県からの出展者及びJR九州のブースを回遊するスタンプラリーにより、九州エリアが一体となったPRを行いました。

※来場者数 157,589人(速報値)



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 人事往来

9月に事業本部スタッフの人事異動がありましたので、よろしくお願ひ申し上げます。

【転入者】 [] 内は派遣元

・企画部 主任 谷崎 千紗 [株式会社九州エンタプライズ]

○ エグゼクティブアドバイザー委嘱

機構事業の推進を図るため、新たに「エグゼクティブアドバイザー」を設置することとし、10月2日付けで、後藤靖子さんに委嘱しました。

後藤さんは、前国土交通省国土交通政策研究所長で、1997年には九州運輸局企画部長も務められています。機構の会議にも出席され、アドバイスをいただくことにしております。

○ 10月以降の主な事業

- ・韓国における「九州オルレ」ブランド情報発信事業(9月～2月:韓国内)
- ・内閣官房による総合特区現地調査(10月2日:福岡県)
- ・2014年度九州各県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議及び九州観光ボランティアガイド研修会第2回実行委員会(10月2日:福岡市)
- ・観光プロモーション at 羽田(観光庁主催)(10月3日～5日:羽田空港第一ターミナル)
- ・特区ガイド(福岡会場平日クラス)合格発表(10月8日:福岡県)

- ・九州観光・物産フェア2014（10月11日～13日：東京代々木公園）
- ・ムスリム対応に向けたインドネシア・マレーシア旅行会社招請
（10月14日～18日：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分）
- ・ムスリムトラベルセミナー（10月17日：福岡市）
- ・ベトナムでの訪日旅行セミナー・商談会への参加（10月22日、24日：ハノイ・ホーチミン）
- ・九州観光推進機構第2回運営協議会（10月31日：福岡市）
- ・欧州WTMロンドン出展及びパリ・アムステルダム旅行会社プレゼン・商談会
（11月3日～7日：英国・フランス・オランダ）
- ・香港テレビ番組招請（11月4日～13日：九州7県）
- ・台北国際旅行博ITF2014出展（11月7日～10日：台北）
- ・九州観光推進機構第3回理事会（11月13日：福岡市）
- ・中国国際旅遊交易会（CITM2014）出展（11月13日～16日：上海）
- ・フィリピンでの訪日旅行セミナー・商談会への参加（11月19日、21日：マニラ・セブ）
- ・クルーズ・ SHIPPING・アジア・パシフィック2014出展（11月20日～21日：香港）
- ・修学旅行九州現地視察会（11月22日～24日：福岡県・大分県・佐賀県・長崎県）
- ・香港メディア（活字媒体）招請事業（11月24日～28日：九州各県）
- ・マレーシア華僑系旅客取扱旅行会社招請（11月下旬：九州内）

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人 九州観光推進機構 企画部 吉田

TEL:092-751-2943（代表）

092-751-2946（国内誘致推進部^{ダイヤル}）

092-751-2947（海外誘致推進部^{ダイヤル}）

FAX:092-751-2944

E-mail: infokyushu@welcomekyushu.jp